

大阪府立布施工科高等学校 PTAだより

第89号

編集 発行

大阪府立布施工科高等学校 PTA広報委員会

東大阪市宝持

三丁目七番五号

<http://www.osaka-c.ed.jp/fuse-t>



『ご卒業おめでとうございます』



PTA 会長
中村 智恵美

16期の生徒の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。入学式もなく始まつた高校生活でしたが、皆さんは数々の制限の中で、自分たちに何が出来るかを摸索しながら充実した学校生活を



校長
中井 宏典

ご卒業おめでとうございま
す。PTA会員の皆さまに
おかげましては、益々ご清
祥のこととお慶び申しあげ
ます。平素より、本校PT
A活動・教育活動にご理解
とご支援を賜り心よりお礼
を申し上げます。

第一6期生が入学した春
には、国内初の新型コロナ
ウイルス感染症に係る「緊
急事態宣言」が発出され、
大阪府においても2ヵ月に
もおよぶ学校の臨時休業と
なりました。入学直後から
見通しの立たない状況の中、

いわゆるにおいても生徒たちは本当によく頑張つてくれたと思います。今までの学校生活とは違う様々な状況の変化に対応しながら、オンライン学習・部活動・資格取得や就職・進学活動等に果敢に挑戦し全力で取り組んでくれました。

さて、卒業生の皆さんがあなたへ歩みだす社会は変革の時を向かえています。インダストリーアイ・オーソサエティなど、様々な知識や情報が共有され、人工知能の活用により社会の仕組みも速いスピードで変わつていくことでしょう。皆さんには、本校で培つた知識や技術・技能を基礎として、複

はありましたが、無事実施できましたのも一重に保護者の皆さまのご支援・ご協力の賜であり、教職員一同心より感謝申しあげる次第です。また、この行事の成功は、生徒たち一人ひとりが楽しむ気持ちで一丸となって参加し、生徒自身が考え、仲間とともに取り組んだ結果だと思います。この経験は必ず将来の良い想い出となり、人生の糧になるのではないかと考えていま

今後も、新たな布施工の魅力づくりについて、教職員一同力を合わせてまいりますので、引き続きP.T.A会員の皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

合化する技術進展の課題にも柔軟に対応しながら、活躍してもらいたいと願っています。結びに、この言葉をおくります。

「夢を持ち、人を喜ばせ、自身も喜べるよう努力を続けよ

卒業おめでとう。そして新しいステージで活躍してください。

皆さんも「5S」(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)の徹底を基礎として、人間性豊かな技能者に成長してください。今後のご活躍を祈念いたします。

高度熟練技能者は、技術・技能はもちろんですが、人間性がとても素晴らしい、尊敬できる方ばかりです。実直で、人に優しく思いいやりがある、仕事が大好きで誇りをもつて仕事をしています。

布施工科は、「人づくり」の
ものづくり「夢づくり」の
スローガンを掲げ、「技術」
を学ぶだけではなく、「技
能」を身に付けるべく、先
生方は授業・実習に工夫を
凝らしています。

夏も近く八十八夜を前に、静岡県の茶畑の鮮やかな緑色と富士山が大変印象的でした。『枕投げ』では、地元の新聞の一面に大きく紹介されました。修学旅行でしか、この仲間でしかできない体験ができたと思います。

教頭 佐藤 義勝

『思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。』これは私が好



3M I 担任
南 普也

工科ー6期生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。この3年、コロナ禍によりマスクの生活を余儀なくされ、皆さんの表情をしつかり見ることのできない寂しさも少し残っています。しかし、皆さんに出会えたことや成長を肌に感じながら過ごせたことは、とてもうれしくもあり頼もしくもありました。これからはそれぞれの道で新たな出発です。決して焦る必要もない、諦めず、へこたれずに大切な自分の一生の坂道を登つていってください。そして、どんな悩みにも負けることなく自分らしく、あらゆる事に挑戦して欲しいと思っています。

若い今こそ一生の土台を築く一番大切な時期です。今をどう生きるかで未来は変わっていきます。ゆえに一瞬一瞬大切にし、すべてを成長の糧として社会に貢献していく人になれるよう心より願っています。常に前へ前へと進んでいく力強い人生を歩んでいってください。



学年主任
林 克佳

卒業生の皆様、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様が入学された時は、まさにコロナ禍真っ只中の状況でした。4月、5月と登校できない時期が続き、6月から部分登校が開始されました。教室内の消毒やマスクの着用、手洗い消毒など緊張する日々が続きました。種々の行事も行われず、我慢の日々であつたと記憶しています。何より工場見学などの就職に向けての活動ができることは、工科高校である本校にとつて大変心配なことでした。2年時もコロナによる休校が多くあります。したが、少しずつ皆様が成長するペースが上がつて來たと、いう実感を持ちました。3年時には修学旅行、体育祭も行われ、就職・進学の夏を乗り切つて皆様が最高の進路を勝ち取りました。4月からは、新しい自分の活躍の場で、粘り強く挑戦の毎日を送つてください。大変だつた経験が必ず生きてくると信じております。



3M2 担任
田浦 宏幸

きなマザー・テレサの言葉です。思考や言葉はいずれ行動になり、習慣（癖）になり、それがその人自身の性格になるから気を付けようという言葉です。日頃からしつかりと自分のことだけを考えるのでではなく、周囲の状況や人を思いやる気持ちを持つて、行動していればきっと誰からも信頼される『人』に成長でききます。そしてそれぞれの進路先でBravoな活躍をされることを期待しています。また、これから先、良いことも悪いこともたくさんあるはずです。いろんなことを経験してBravoな人生を歩んでいくください。

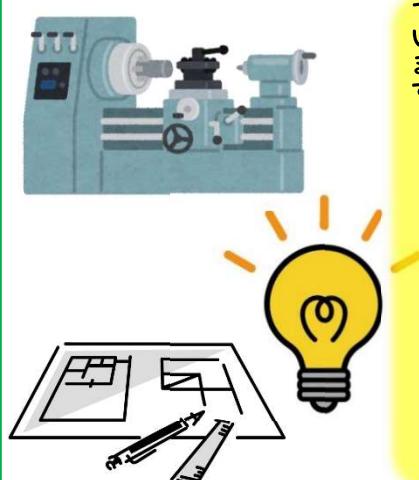
粘り強く挑戦の毎日を

卒業生の皆様、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様が入学された時は、まさにコロナ禍真っ只中の状況でした。4月、5月と登校できない時期が続き、6月から部分登校が開始されました。教室内の消毒やマスクの着用、手洗い消毒など緊張する日々が続きました。種々の行事も行われ、成績発表式や運動会など、これまでの学校生活を締めくくる行事が開催されました。



3 E I 担任

卒業生のみなさん ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様へも心よりお祝い申し上げます。コロナ禍により入学式を挙行できず、分散登校から始ました一年生の時を昨日のように思い出します。この3年間は行事や学校生活にいろいろな制限があり、思い描いた高校生活とは違つた方もいるかと思います。その中で知恵を絞り一生懸命活動に取り組む姿勢は、これから社会を担う人材として頼もしいものでした。



★担任団より★
お祝いのことば

卒業生の皆さん　ご卒業おめでとうございます。この学校で皆さんと一緒に過ごした3年間は、私自身にとつても一番充実した時間でした。私は皆さんには厳しいことを言つてきました。でもそれは皆さんが今後に失敗しないために身につけてほしいことを一つずつ習慣づけて欲しかったからです。私自身もこれまでたくさん失敗をしてきました。同じ失敗をして欲しくない、そんな思いがこれまでの言葉になっています。「失敗も経験のうち」とも言いますが、失敗でたくさんの人迷惑をかけたこともあるので、やっぱり失敗しない方が良いです。そうして考えたとき、多くの先生方からの言葉も皆さんを思つての言葉であつたと分かると思ひます。先生たちの言葉が将来の活躍のきっかけとなれば幸いです。皆さんはこれから的人生を楽しめるように、これからも一生懸命に頑張り続けてください。最後になりましたが、皆さん、次のステージでも頑張つて！これからも応援しています！



3 E 2 担任

『次のステージでも頑張つて！

独立自尊



3 A I 担任
田中 敬太

卒業おめでとうございます。中学校の卒業あたりから新型コロナの影響を受け、生活スタイルが大きく変わった高校生活のスタートとなりましたね。その高校生活も今日で終わりです。明日からは、自らの道を自らの足で進んでいくしかありません。他人と比べてどうだとか、あいつは恵まれているとか、ただの言い訳でしかありません。やるだけのことをやつて迎えた結果は、素直に受け入れるしかありません。やることもやらずに迎えた結果に、素晴らしい世界は待っています。素直に真面目に暮らしにくい日本になってきていますが、周りに流されずに、自分をしつかり持つて幸せをつかんください。何年後かに、この布施工科高校で経験した様々なことが、みんなで大笑いして話せるようになればと思つています。君たちと過ごしたあつという間の3年間、「ありがとうございます」の一言で締めくくります。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



を重ね入学当初とは別人のように成長しましたね。 素直な心、負けない心、優しい心、いい心などそれぞれが個性を生かし活躍してくれたのを本当に嬉しく思います。 4月からはそれぞれの場所で一からのスタートです。

「評価は他人が」

頑張っているのは周囲が認めてくれます。自分の納得ができない評価を受けたときは一息ついてもう一度頑張つてください。何が足りないのか、どうしたらいいのかしつかりと考えて振り返つてください。「自分は頑張っているのに」は心の奥にしまって。

これからも更なる活躍を期待していまるのを楽しみにしています。立派な社会人になつた皆さんに会え

卒業のことば

建築設備系 建築システム専科
卒業生代表 吉崎 アキラ

希望と決意に燃えて、この布施工科で校の門をくぐつてから、はや三年。ふと目を閉じると、勉強や部活動、学校行事などの思い出が、一つ一つ蘇つてまいります。

三年前の春、私たちはこの布施工科で新たなスタートを切りました。新生活に期待を膨らませつつ、義務教育を終え、一つ一つの行動の責任を自分に問われるのが高校生だと思うと、身の引き締まる思いででした。また、クラスメイトと友達になれるか心配でした。

私たち十六期生は、新型コロナウイルスの影響で入学式が中止になり、高校生生活として特殊なスタートを切りました。授業では、全員参加が少なく、どこかクラスに穴が空いているような感じでした。それでも、毎日友達と過ごす時間が楽しくて、このままテストも無かつたらいいのにと思う日も多々ありました。瞬く間に楽しい日々は過ぎ、系選択によつてそれぞれ専門の道へ分かれることとなりました。

二年生に進級し、寂しさを感じていましたが、そこには新たなクラスメイト、新たな先生方が待つていました。二年生からは新たな専門教科、実習など、未知なことがたくさんありました。

三年生になつて間もなく、二年生の時にコロナによつて中止になつてしまつた修学旅行に行けることになりました。修学旅行先の静岡方面では、富士急ハイランドや中華街周辺の散策を行いました。三年生になつてようやく、初めて学年全體での校外活動ができたので、喜びと感動もひときわ大きく感じられました。なかも、宿泊先が「発祥地」といわれる「まくら投げ大会」を、体育館を貸し切つてクラス対抗で開催したのが、一番の思い出です。

思いがとも友人たとの新たな一面を発見する
自分自身は進学希望だったため、周り
がほぼ進路決定をした後に本番を迎える
立場でした。小論文や口頭試問など、今
までの学校の試験勉強とは全く違った対
策が必要になり、放課後に毎日何時間も
ホワイトボードを使って練習するなど、今
苦労しました。このような手探り状態の
中でも、先生方がさまざまなお情報をくださ
り、親身になって相談に乗ってください
ましたおかげで、無事合格することができ
ました。

私がこうして自分の第一志望に向けて
最後まで努力を続けることができたのは、
周りの同級生たちが、自分の進路実現の
ために、粘り強く努力し続ける姿を見せ
てくれたおかげだと思います。

世界的な転換期となつたコロナを経験
した私たちは、失つたものも多いかもしれません
が、それを共に乗り越えて、喜びや楽しみを分かち合い、強い絆で結ば
れた世代だと思います。私たち十六期生
は、この強い絆と、布施工科高校で三年
間学んだ知識と技術を翼として、新たな
未来を切り拓き、羽ばたいていくことを
誓い、お別れの言葉とさせていただきま
す。

最後になりましたが、これまで私
を温かく見守つてくださつた地域の皆様、
そして、どんな時も一番近くで寄り添い
続け、十八年間育ててくださつた保護者
の皆様、普段は言葉にする機会も少ない
ですが、いつも感謝しています。改め、
この場を借りて御礼申し上げます。また、
共に喜び、時に厳しく叱りながらも導い
てくださつた先生方、本当にありがとうございました。
社会の一員として踏み出
す私たちへ、これからもご指導のほどよ
ろしくお願ひ致します。



行事紹介



修学旅行(3年生)

静岡伊豆・富士急ハイランド・横浜



☆令和4年度 事業報告

[校内]

- 4月 20日 第6回PTA実行委員会（旧）
 5月 25日 PTA総会
 第1回PTA実行委員会
 第1回PTA学級委員会
 6月 8日 体育祭 ☆スポーツ支給
 第2回PTA実行委員会
 7月 13日 ものづくりフィールドワーク
 7月 20日 PTAだより 88号発行
 9月 14日 第3回PTA実行委員会
 10月 15日 PTA社会見学会 ←
 10月 26日 第4回PTA実行委員会
 第2回PTA学級委員会
 2月 1日 第5回PTA実行委員会
 2月 16日 PTAミニ研修会
☆普通科授業&専門系実習体験(次ページ)
 3月 4日 卒業式・
 PTAだより 89号発行
 3月 20日 新入生合格者説明会

よりよい学校教育のためには、教員
 と保護者を結ぶPTA活動が重要
 です。皆さまもぜひ、PTA活動に
 ご参加ください♪



☆令和4年度 事業報告

[校外]

- 大阪府立実業高等学校 PTA連合協議会総会（6/11）…本年度副会長校。来年度会長校
 大阪府立高等学校 PTA協議会総会・交流会（6/15）…本年度、中村会長が協議会会长に就任
 大阪府立高等学校 PTA協議会第5ブロック第1回書面総会（7/9）…本年度幹事校
 近畿地区高等学校 PTA連合会大会大阪大会（7/18）
 全国高等学校連合会大会石川大会（8/25-26）
 大阪府立高等学校 PTA協議会第5ブロック第2回総会・研修会（11/26）…幹事校として運営
 「女らしく男らしくより自分らしく生きる」～ジェンダーの平等が実現し安心できる学校～

大阪府立高等学校 PTA協議会研究集会（2/3）…本校事例発表

⇒参加校の中で、本校の取り組みが、最優秀校に選出されました！

PTA活動

PTAだより 88号をご覧ください

クラブ助成金について検討。生徒たちのより充実したクラブ活動をPTAが支えています！

本年度支援クラブ

バトミントン部、建築設備同好会、音楽部、
 陸上競技部、バレーボール部、園芸部、
 機械技術同好会、ロボット研究部

「日帰りバス旅行
 PTA副会長出行
 出口 麻子

がりん緩るをれ話ちた堪あの幡のた実加れ
 、ゴみめ忘たに、だ能る町で期。しさた高
 思い大、んれ後花保「いできました。され3く
 いだ会バた、はが保護者」たみ限が乗時た年澄
 出またはスい大和咲者「いたミニ会席のトス。P
 にだ旅パ物船き」燒菓子を購入、保護者のPTT
 残コ賞行一演屋ま「職員」ラ・快ことま社会
 ルロののク歌形ました。また、岡山市で開催
 一ナ定で歌船た。「ス。ポット映画入、コリーナがり
 日禍校番の手でで長とおがののな垣牛喜近江近江行
 では賞も買出水な垣牛喜近江近江行
 なりあいい迎郷かがを舌鼓本店の口ケ景地江江行
 まりますのである大紐くにたえをで色で商江江行
 ました。ビもれ時さて打いもも人ハヘ充参



PTA三二研修会

普通科(日本史) 「もののけ姫から見る日本史」



＜アンケート＞
「楽しかった！」
「また絶対に開催
してほしい！」
「子どもが学んでいる
ことがよく分かった！」
など

内容：

保護者が本校の普通科の授業と、

各専門系の実習を体験

目的：

教員と保護者、保護者同士の親睦を深めること。

PTAの学校・各系・生徒理解を深める。

PTAの生涯学習への意識を高める。

建築設備系 實習

「パスの着彩」



A classroom setting where students are working individually or in pairs at long wooden tables. They appear to be focused on tasks involving small objects, possibly related to the 'time capsule' mentioned in the text. The room has a whiteboard on the wall and various educational materials visible.

A classroom setting where students are seated at their desks, focused on their work. A teacher stands near the front of the room, interacting with a student. A large projection screen is visible in the background, displaying a presentation slide.

A close-up photograph showing a person's hands working on a small, rectangular metal component. The person is using a red pen to mark the part and a ruler to measure it against a worksheet. The worksheet contains several diagrams and numerical values, likely related to engineering or technical drawing. In the background, there is a yellow plastic bin and some white tissue paper.

電氣系 実習

「デュアルシステムに挑戦」 首席 千田 充弘

デュアルシステムという長期企業実習に3年生27人が挑戦しました。デュアルシステムは本校の工科改編事業の特色として令和6年度の3年生の授業で実施を計画し、今年度は制度設計を企業とともに進める試行実施を行いました。

令和6年度には週に1回、丸一日の実習を前期3ヶ月・後期3ヶ月経験し中間報告・成果報告を実施する計画です。

今年度は課題研究の授業において、週に1回、午後の時間帯での実習を3ヶ月間で6回行い、その活動を成果報告会で企業の皆さんに発表するという内容で実施しました。

スタート当初は不安も交えた表情で実習へ向かう様子でしたが、回数を重ねるごとに「出勤」していくような頼もしい姿に成長していき、学校という学びの場を飛び出し、外の世界で挑戦した成果だと感じました。学びの場が企業にも増え、そこで自信をつけたことで、積極的な進路活動につながっていました。

1月の成果報告会に向けて、事前に参加者同士の相互報告会・2年生対象の報告会を実施し、資料作成や発表練習に試行錯誤を繰返し、より良いものを創りあげました。

成果報告会では、成果として、実習の経験・技能・仕事とは・やりがい・働く姿勢などそれぞれに成果を報告し、中には人生相談というのも：人間性の成長も成果としてとらえてくれていいのだと嬉しく思いました。生徒はみんな参加して良かったとふりかえってくれており、デュアルシステムに挑戦してくれて本当に良かったと思います。

参加者のうち4人は参加企業に就職が内定しています。参加者がそれぞれの進路先・産業界で活躍してくれることが楽しみです。今後もより良い実施ができるよう推進してまいります。

デュアルシステム

～企業留学～

はたらく姿



成果を発表



課題研究 PBL チーム 地域貢献活動

ものづくりワークショップ・スコアボード寄贈



【成長は、経験から生まれる】
コロナ過でイベントが無くなった地域の子供たちに、貴重な経験を提供することができたこと。
生徒が本校で学んだ「ものづくり」を通して、先生役となって教える経験ができたこと。
私自身もこのイベントを通して、保護者・OBと現場で出会い、応援していただきました。校内だけではなく、校外に出て活動する大切さを生徒と共に学んだ一年でした。

「ものづくりワークショップ」
首席 川崎 哲也



本年度は、電気系課題研究PBL班を中心に、7回実施しました。一回目のイベントでは、「教える自信ないわ」「ふたりでやろな」など不安なコメントが多いなかで本番を迎えるました。生徒達は、教えていく中で声掛けなどを

【ゼロからイチは、生まれない】
PBLの授業で学んだ管理技術の考え方や、先輩が作った作品からアイデアを得て、生徒達が設計しました。一番時間を費やしたのが設計でした。ミリ単位設計、不採用のプレモodelもありながら、確実に表示できることを確かめ作品製作をしました。

完成した作品を職員の方が見られて、「デジタルの得点版みたいですね」とお褒めの言葉をいただき生徒達は、大変喜んでいました。

後日、東大阪市役所で寄贈式を行い、野田市長から感謝状を頂きました。今後も、地域の課題を解決するものづくりを実践していきます。

「車いすソフトボール場



花園ラグビー場横にある、車いすソフトボール場にスコアボードがなく困っているとの話を受けて、PBLメンバーで製作を始めました。機械系の生徒で得点版の塗装、化粧板の貼り付けを行い、電気系の生徒で3Dプリンターを活用して点数を表示するプレートを製作しました。

